

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2016年6月定例会議事録

- ◎ 開催期日：2016年6月16日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	七尾	慶一
☆JCS	(株)日本海中技術振興会	鷹野	与志弥
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆NAUI	株式会社ナウイエンタープライズ	和泉	芳則
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限会社	岡本	康男
☆オブザーバー	静岡県ダイバーズ協議会	我妻	亨
	JRDA	有原	義則
	DANジャパン	加賀谷	
		平川	雅一

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① 2016年ダイバー自身の安全対策セミナー開催結果報告

- 事務局より、5月28日に開催されたダイバー自身の安全対策セミナーの結果について以下のお通り報告された。
- 参加者数：44名（内プロダイバー15名）
- アンケートの結果（5点満点の採点方式）
 - ・ 2015年事故報告（海上保安庁）4点以上82%
 - ・ あなたは本当に潜っても大丈夫（DAN JAPAN）4点以上100%
 - ・ 事故例から対策を考える（C協）4点以上78%
- 概ね好評であったが、C協のプレゼンが始まる時点で時間が押ししており、時間のコントロールに若干の課題を残した。

② J L D A 酸素Q&Aについて

- J L D A有原氏より、J L D Aの通信媒体を通じて「ダイビングにおける酸素の使用に関するQ&A」を公表するとの説明があり、同資料をC協に提供する準備があるとの説明が加えられた。

③ 船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の一部改正について

- 事務局より、船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の一部改正について一般ダイバーからC協に質問が寄せられたとの報告があり、定例会参加メンバーに対し当該規則について情報があれば提供するよう呼びかけられた。
- 当日は定例会参加メンバーが、確認事項を一旦持ち帰り情報収集の上再度検証することになった。

④ その他

- 体験ダイビングプログラムの必要条件
 - ・ 前回5月定例会からの間、C協加盟各社の体験ダイビング基準の再確認として、当該各指導機関の体験ダイビング基準が事務局に提出され検証された結果、細部において多少の表現の差異はあるもののISOの基準を大きく逸脱する基準を設定している指導機関は無かったことが確認された。
 - ・ これらの検証結果を踏まえ、事務局が提言草案を継続して作成することになった。
- 静岡県ダイバーズ協議会我妻氏から、昨今フリーのインストラクターがSNSを通じて集客を図っていることが静岡県ダイバーズ協議会管轄エリアで問題になっているとの報告があった。
 - ・ 具体的な問題点は業務ではないサークルのような活動にもかかわらず、現地サービスに対し業社価格を要請していることが問題になっているとの事。
 - ・ 今後前述の問題に該当するフリーのインストラクターに対し、業界モラルの説明が必要であるとの意見があった。
- J R D A有原氏よりC協に対し、業界動向調査の協力依頼があり、C協としてこれを承諾することとなった。

以上